

理学療法士について

理学療法士とは…

病気やケガ、障害などに対して運動療法や物理療法を行い、立つ・歩くなどの基本動作能力の回復を図ります。また、病気やケガの悪化予防のためのサポートやアドバイスも行います。

運動療法

治療的な体操や徒手療法、動作練習などを行い、基本動作能力の維持・改善を図ります。



関節可動域訓練



歩行練習

日常生活動作練習

入浴や階段昇降など、日常生活に必要な動作の練習を行います。また、家で過ごしやすいようアドバイスも行います。



階段練習

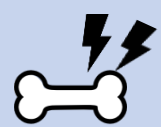


入浴動作練習

物理療法

牽引療法や温熱療法など、物理的なエネルギーを使用し、患部の回復を促します。

一般的な理学療法の対象



人工関節術後や骨折などの整形外科疾患



リウマチ性疾患や感染症などの内科疾患



発達障害などの小児疾患な脳卒中などの脳血管疾患



心筋梗塞や心不全などの心疾患



外科術後や肺炎などの呼吸器疾患

当院の特徴のある理学療法

当院では、特徴のある理学療法を行なっています。
特に整形外科やリウマチ科、小児科との関わりが多いです。

小児疾患

生まれつきの障害や運動発達が遅れているお子さんを対象に、運動発達の促進と運動機能の維持・向上を個々に合わせて支援しています。また、装具や補装具についてサポートしています。



リンパ浮腫

乳がんや婦人科がん術後にリンパ浮腫を発症された方に対して、リンパドレナージや弾性ストッキング/スリーブの紹介、セルフケア指導を行なっています。

腰痛や頸部痛

当院ではマッケンジー法を導入し、痛みに対する体操や姿勢指導、日常生活指導を行なっています。

糖尿病

血糖値の改善を目標として、有酸素運動や筋力トレーニングなどの運動を行なっています。退院後も、日常生活の中で運動を継続できるように指導しています。

骨盤底筋機能障害

腹圧性尿失禁をはじめとする尿漏れや骨盤臓器脱症状がある方、前立腺がん術後の方が対象です。同性のセラピストが運動や日常生活指導を行なっています。

緩和ケア

積極的ながん治療は行わず、身体的・精神的苦痛に対する症状緩和を必要とする方が対象です。苦痛を軽減するためにマッサージを行ったり、日常生活に必要な筋力や体力を維持・改善できるようサポートしています。